漂著石神論計画

折口信夫

青空文庫

1 柳田先生の民俗学的研究上、一大体系をなす石信仰。今新な
　回顧の時に達した。
2 諸国海岸に、古代より神像石（カムカタイシ）の存在した事実。
3 神像石の種類。
　a 定期或は、臨時に出現するもの。
　　「イ、海岸。
　b 常在するもの┣ロ、海岸から稍隔つた地。
　　「ハ、海中の島又は、岩礁。
4 神像石の様態。
　a 唯の石であるもの。
　b 神の姿を、想見せしめる程度のもの。
5 この論は、此を出発点として、漂著（ヨリ）神信仰の中、石神の件を
　考へる。
6 3のイ・ロ・ハは、海岸に出現する形が、最、普通であり、
　正確なものである。此が、浜を遠ざかる程、村の生活が、
　山手に移つた事を示す。ロ・ハは、遥拝信仰発達の一過程
　であるが、其多くは、神幸の儀式を行ふ前の、足だまりと
　なる地点であつた。
7 「遥かの沖にも、石はあるもの。夷御前（エビスゴゼ）の腰掛け石」の唄。
8 腰掛け石と、影向石と。
9 五郎投げ石・力持ち石。
10 村岡五郎――相州の巨人伝説。
　a 曾我。
　b 鎌倉。
11 石つぶて。
12 おひし。
　a 生石
　b 大石
13 一夜、忽然出現。
14 石を以てする神出現の証――地蔵。
15 石出現の夜の行事。
16 石と、成年戒と。
17 印地打ちと、成年戒と、石の洗礼と。
18 石の旅行性（自力ならぬ）・植物旅行性。
19 石の人による旅行。
20 石の分霊観。
21 人にとられると同時に、大きくなる。
　育て主を待つ。之が極ると、急に大きくなる。
　　「翁
　a 大きくなる者――育み人┣
　　「少女――後、夫婦
　b 小さいまゝの者
22 育み人有勢な場合。
　a 少彦名――つき物
　b 天日矛の石及び珠――夫婦
23 より石と、巫女と。
24 玉の歌。
　a 魂関係
　b より来る玉

25 玉は石か、貝か。
26 装身具以外の玉。
27 玉がしはを、石とする説。
　玉を盃に入れること。
28 海祇の玉献上と、降服。
29 玉の大きくなる事。
30 世襲の玉と、その増殖した物を伝ふる家系。
31 玉を貰ふ事が、魂を貰ふことになる。――みたまのふゆ。
　a　定期　歳暮
　b　臨時　みたま賜ふ
32 玉その物から、魂を托する物。みまのからに変化。
33 玉よる磯。
34 やぼさのより処。
35 対馬正式。
36 壱岐のやぼさ。
37 やぼさから、鬼塚へ。
38 鬼塚と、より神と。
　より神と称する物。
　a　建て物――海
　　「イ、巫女の憑り神
　b　民俗｜ロ、盲僧の役神
　　「ハ、陰陽師
39 神功皇后の石。子負の原の鎮懐石。
　壱岐の鎮懐石（石を栓として置く）。
40 石数増殖。
41 石成長。
42 鎮懐石の意義と、成女戒と。
43 鎮懐は、鎮魂の一方面であること。
44 鎮懐石の他処より来る事。
45 望夫石の問題。
46 親友中山太郎さんの考証。
47 人や動物の石になり、植物の石になること。
48 三宝絵詞・今昔物語では、動物の過去生を説いて、経を聴く為の仮身だと説く。未来生を説くよりも、此時代の仏的色彩が出てゐる。
49 此と共に、未来転生を説いて、神道（仏法一派として）に入る事を言うたに違ひない。
50 犬は固有種の少数の外は、猫と同じく、外来のもので、猫よりは遥かに、早かつたらしい。
51 異郷の叡智を受けた、敏感な生物。
52 人に犬姓を与へた、播磨風土記の例（告（ノリ）「つげだらう」首）
53 常世長鳴鳥式の智慧。
54 沖縄の各由来記には、犬の神になつた話が多い。それは、石になつたことである。
55 いづれ、仮死の状態を考へるのだらう。
56 常世の所属たらしめる為の洗礼には、石の形を経過せしめる。
57 大国主の赤猪石。
58 出雲の国造の、猪形の石につけて、菱根池に水葬せられたこと。
59 岡となる。大丘――石。

60 蚕の化成した、日女道丘（ヒメヂヲカ）。
　石と山との関係。
61 猪の石。
62 犬その他のとてむ。
63 印南郡益気（ヤケ）里斗形山あつて、石橋がある。
　天との通路だ。天の八十人上下した。
　此は、動物以外の第二義式化成。
64 よみの国へ行く巌窟。
65 彼岸国からの印象。
　かし石の穴の雫の、柱石となつた事。

青空文庫情報

底本：「折口信夫全集　3」中央公論社
　　1995（平成7）年4月10日初版発行
底本の親本：「『古代研究』第一部　民俗学篇第二」大岡山書店
　　1930（昭和5）年6月20日
初出：「民俗学　第一巻第一号」
　　1929（昭和4）年7月
※底本の題名の下に書かれている「昭和四年七月「民俗学」第一巻第一号」はファイル末の「初出」欄に移しました。
※複数行にかかる中括弧には、けい線素片をあてました。
入力：門田裕志
校正：仙酔ゑびす
2007年4月8日作成
2007年6月3日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

漂著石神論計画

折口信夫

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/